

# 株式会社三菱東京UFJ銀行大阪ビル別館納入 無停電電源システム

Uninterruptible Power Supply System in Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ Osaka Annex

## 1. まえがき

株式会社三菱東京UFJ銀行大阪ビル別館に、待機冗長方式を採用した無停電電源システム(以下UPSシステムと記す)を納入したのでその概要を紹介する。

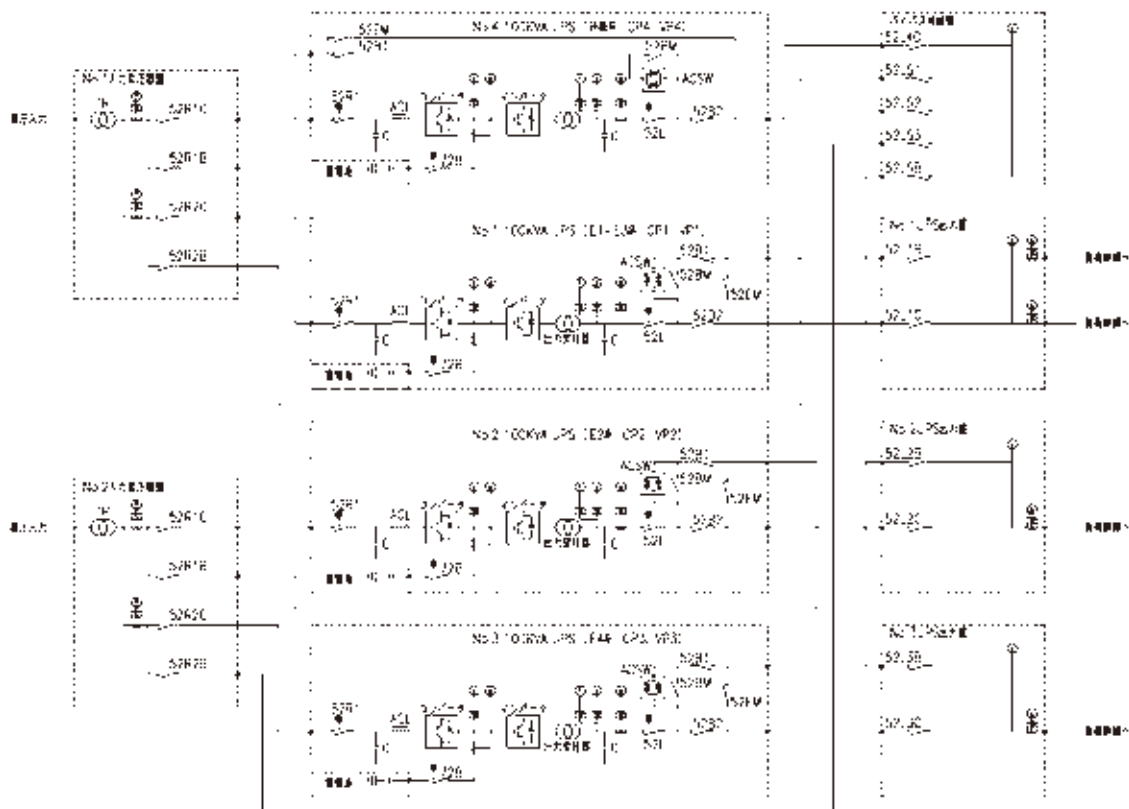
## 2. 構成・電氣的諸元

- |                            |    |
|----------------------------|----|
| (1) 入力変圧器盤                 | 2面 |
| (2) バイパス接続盤                | 1面 |
| (3) UPS出力盤                 | 3面 |
| (4) 100kVA UPS             | 4式 |
| 入力 3相3線式 208V±10% 60Hz±5%  |    |
| 出力 3相3線式 197～218V設定可変 60Hz |    |
| (5) 蓄電池盤                   | 4式 |
| MSE型272個 150AH 10分間        |    |

## 3. 特長

図1に本UPSシステムの単線結線図を示す。

■ 図1 単線結線図  
Fig.1 Single line diagram



常用号機のNo.1～3 UPSのいずれかが故障した場合、UPS内部のインバータ出力からバイパス出力(ACSW)へ無瞬断で切り換わる。

バイパス直送回路は待機号機のNo.4 UPSからバイパス接続盤を経由して常時給電されているため、負荷に対して無瞬断で停電補償された安定した電源の供給が継続できる。

並列冗長方式に比べ電流を制御する必要がなく、負荷系統が分割できる場合は単機用UPSを必要な容量に応じて構成することができる。

## 4. むすび

待機冗長方式を採用したことにより、構成に自由度があり、高い信頼性のあるUPSシステムとなった。

今回実施した100kVA以外でも単機で標準化済みの容量(30・40・50・75kVA)であれば適用が可能であるので、ニーズに応じた提案ができるようにしたい。

最後に、本システム納入にあたり、株式会社三菱東京UFJ銀行並びにメンテナンス担当の関連会社の関係各位に多大なご指導とご協力をいただいたことを、ここに改めて深く感謝の意を表するものである。